

令和5年6月26日

凍霜害に対する経済的支援の要望

沼田市長 星野 稔 様

沼田市議会

経済建設常任委員会

委員長 山宮 敏夫

副委員長 大東 宣之

委員 齋藤 智

委員 相澤 宗利

委員 木内 修一

委員 野村 洋一

沼田市にとって重要な産業の一つであるリンゴやサクランボなどの観光果樹園が、4月に発生した凍霜害によって全ての園が被害を受け、収穫量、収入ともに大幅に減少することが予想されています。

2021年にも大規模な凍霜害が発生し果樹農家は大きな打撃を受けましたが、それぞれの努力で危機的状況を脱することができました。

市議会では、議員有志により6月11日、県の農業事務所長なども参加し、池田地区と利南地区のリンゴ園などで被害の調査を行うとともに、生産者の方々から直接意見や要望を聞くなど被害状況の確認を行いました。

今回の凍霜害は、2年前の被害を上回るものでこれからの事業継続が困難となることが心配されるような生産者もいることから、事業の継続、産地の維持を図る上でも直接的な経済支援が必要と考えます。

リンゴ狩りなどで訪れてくれた人は、その他にも飲食やお土産の購入、宿泊など大きな経済波及効果をもたらすなど、リンゴやサクランボなどの観光果樹園は沼田市の経済を支える大きな柱の一つとなっており、事業の継続、沼田産果樹の品質向上ブランド化を進めていく必要があります。

市でも条例に基づき被害農家に対し、消毒や肥料代などの支援を行う予定となっていますが、被害農家に対し直接的経済支援も必要と考えます。

今回の凍霜害に対し、経済建設常任委員会として以下のことを要望いたします。

記

1. 凍霜害にあった果樹農家に対し、被害に応じて直接経済的な支援を行うこと。